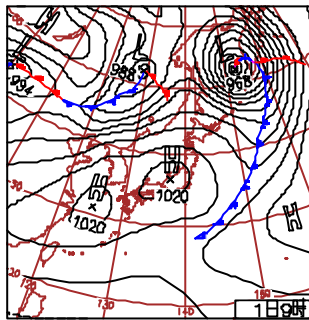


2003年 5月

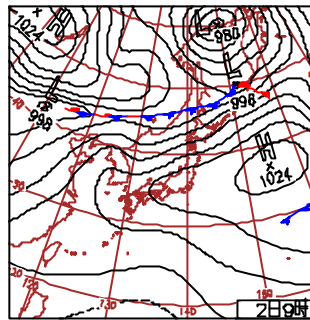
- 8日、寒冷前線が日本列島を通過。長野県王滝村で日降水量104mm、神戸で最大瞬間風速26.8m/sを観測。
- 13日～15日、前線を伴った低気圧により、東日本・西日本の太平洋側で大雨。
- 30日～31日、台風第4号と前線の影響で、東日本以西で大雨。三重県の御浜では時間降水量93mm、尾鷲では日降水量464mmを観測。

(気象庁予報部予報課)



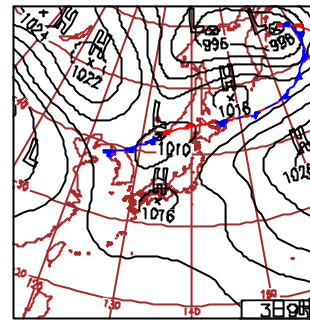
1日(木) 札幌で桜開花

高気圧に覆われ全国的に晴れるが、南西諸島は曇が多く一部で弱い降水。東京は最小湿度13%まで下がり、5月としては第3位の記録。トルコ東部のピンギョル州でM6.4の地震。



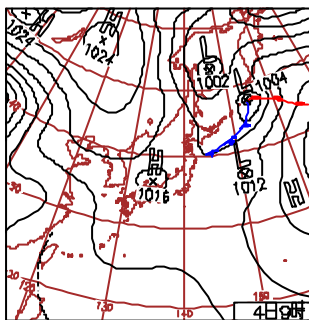
2日(金) 宮崎でホタル初見

東西に長い高圧帯に入り、沖縄を除き全国的に晴れ。宮崎でホタル初見。平年より19日早く、前年より4日早い。



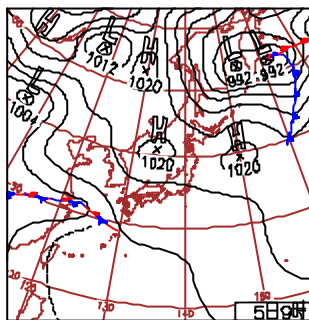
3日(土) 博多どんたく始まる

東海上の高気圧に覆われ全国的に晴れ。気温も平年より高く、全国的に夏日、旭川では最高気温が25.5で今季初めての夏日。連休初日、大潮で潮干狩り日和。



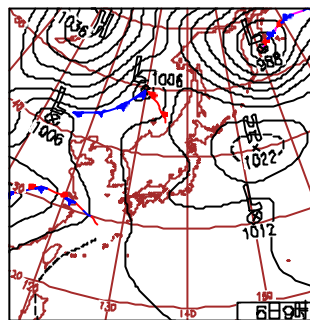
4日(日) 濃霧発生

日本付近は、高気圧に緩やかに覆われるが、全国的に上層雲主体の曇り。弱いながら寒気が入り、早朝に日本海と本州東海上で濃霧が発生、視程は成田で300m、銚子で400m。



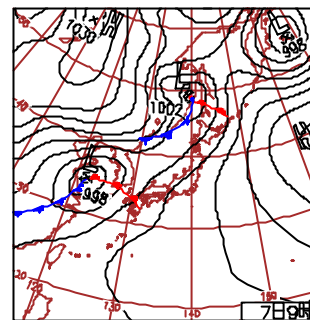
5日(月) 各地で真夏日

高気圧が北に偏って進むが、関東～中国地方は概ね晴れ、北海道曇り、九州・沖縄の一部で雨の所も。近畿、東海等で気温上昇し、京都では最高気温31.1。各地で真夏日出現。



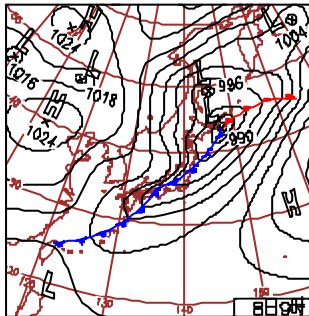
6日(火) 九州地方を中心に雨

気圧の谷の影響で九州は朝から雨。強い所で1時間に10～20mm。その他は日中晴れ間も出るが全国的に曇が多い。気温は九州、北海道を除き平年より2～5度高い。



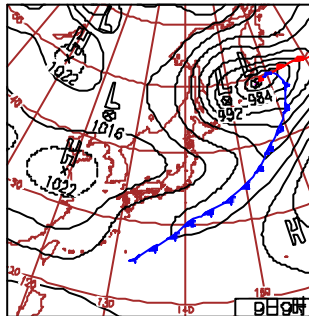
7日(水) 山陰・北陸で気温上昇

全国的に東海上の高気圧の縁辺を迎える高湿の南西風が吹き込み曇りが雨。関東西部では地形の影響で晴れ間。山陰や北陸ではフェーンで最高気温は米子で30.9、新潟で29.9。



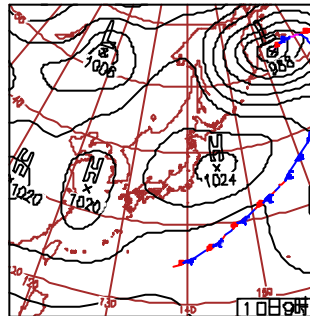
8日(木) 日本列島を前線が通過

前線の通過により全国的に曇りや雨、西日本の所々で雷を伴う。長野県の王滝村で日降水量104mm、大阪の枚方市で1時間降水量47mm。最大瞬間風速が神戸で26.8m/s。



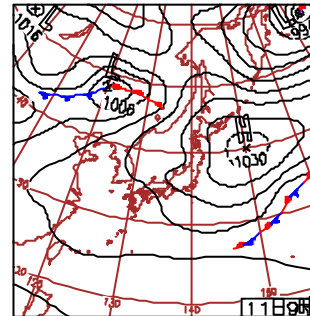
9日(金) 気温4月上・中旬に戻る

寒冷前線が南下。日本付近は移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れる。寒気の南下で気温が下がり、全国的に4月上・中旬の気温。東京の最高気温は6日ぶりに平年を下回る。



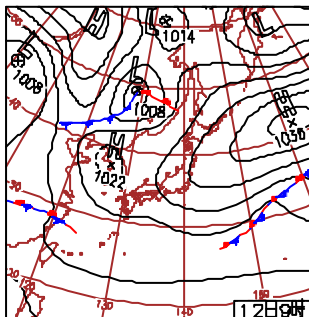
10日(土) 稚内に桜前線到達

移動性高気圧に覆われ、太平洋側の一部で曇りの他は全国的にほぼ晴れ。放射冷却も加わり各地とも朝方は、平年に比べ前後低い。稚内では、平年より6日早く桜が開花。



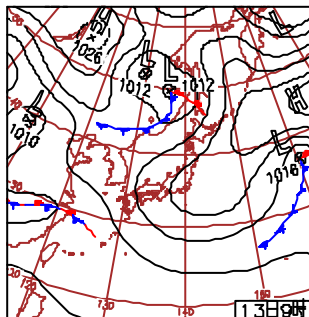
11日(日) 紋別で桜満開

東海上に中心を持つ高気圧が東北や北海道を覆い、高気圧から遠い九州や四国で雨。高知県清水では1時間降水量31.5mmの強い雨あり。紋別で平年より4日早く桜満開。



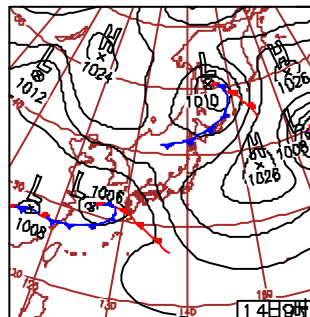
12日(月) 夜半過ぎ、関東で地震

はるか東海上の高気圧で、太平洋側では湿った東よりの風で曇りの所が多く、日本海側では晴れの所が多い。0時57分千葉県北西部を震源として地震(M5.2)、その2分後余震(M4.6)。



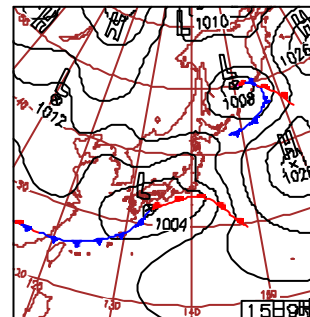
13日(火) 奄美地方が梅雨入り

東シナ海で前線の活動が活発化。九州で雨、特に南部で激しく降る。日降水量は宮崎県の日南市で294mm、鹿児島県の内之浦町で193mm。奄美地方が平年より3日遅く梅雨入り。



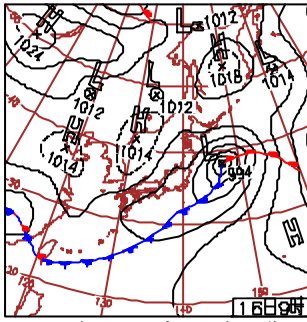
14日(水) 沖縄地方梅雨入り

低気圧はゆっくり東進。昨日に引き続き、西日本の太平洋側で大雨。高知県佐川町で日降水量320mm、1時間降水量の最大は64mm。前線の南下で沖縄地方が梅雨入り。

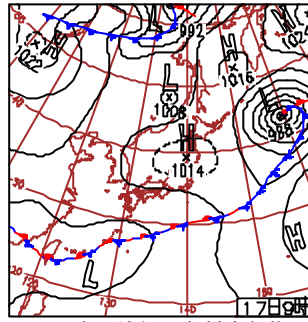


15日(木) 三宅村で大雨

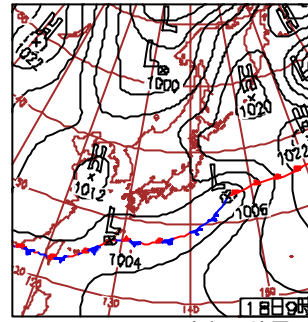
前線を伴った低気圧が日本の南岸を東進し、東北南部以南では大雨、東北北部は曇り、北海道では晴れ。三宅村で日降水量126mmを観測。倶知安ではたんぼが開花。



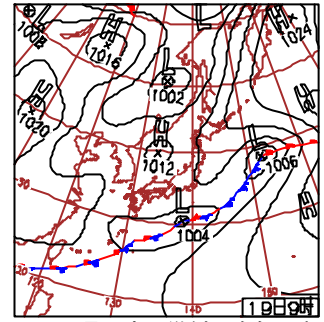
16日(金)西日本で天気回復
低気圧からのびる前線は本州の南岸から次第に離れ、日本海から高気圧が移動。北日本～東日本では弱い雨が一日中残るが、西日本や北海道の日本海側では次第に晴れ間も。



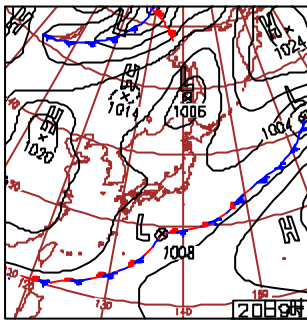
17日(土)沖縄・九州南部梅雨空
沖縄から日本の南海上に前線が停滞し、日本海に高気圧。前線の影響で沖縄から九州南部にかけて梅雨空続く。一方関東は北高型の曇りで小雨。それ以外は晴れの所が多い。



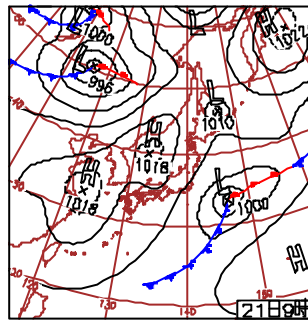
18日(日)長野県南部で地震
前線が沖縄付近から日本の南海上にかけて停滞。北日本と西日本の日本海側で曇が多いながら概ね晴れ、南西諸島では雨、その他の地方は曇り。長野県南部で震度4の地震。



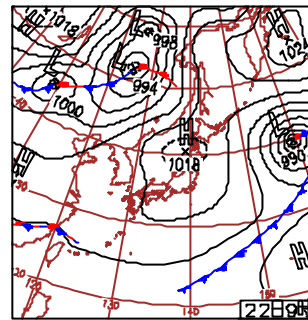
19日(月)太平洋側で全般に寡照
梅雨前線は南海上に停滞。日本付近は高気圧が北に偏り、北東気流の入りやすい状態が続いている。このため太平洋側の地方で全般に寡照。



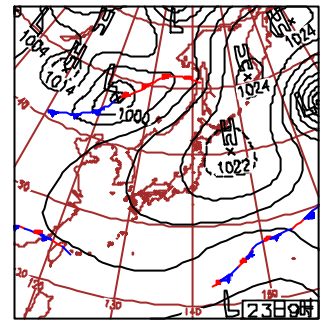
20日(火)各地で雷雨、停電発生
日本付近に寒気が入り、近畿～関東甲信地方で1時間20～30mmの雷雨、各地で停電発生。鹿児島で日降水量75mm。一方、徳島県穴喰町で日降水量95mm。台風第3号発生。



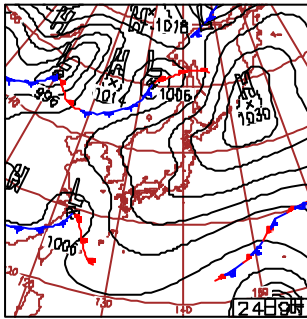
21日(水)全国的に晴れ
関東や東北南部の所々で朝の内まで弱い雨が残るが日中は回復し全国的に晴れの所が多い。東京では11日ぶりの晴天。アルジェリアの首都アルジェの近郊でM6.7の強い地震。



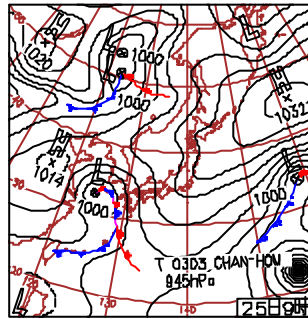
22日(木)ロシア「ヴォズ」運用開始
東北を中心に持つ高気圧に覆われて、昼過ぎまで全国的に降水なし。午後一部で不安定性降水。北日本では上空のエロゾルの増加のため、日射量の減少が観測された。



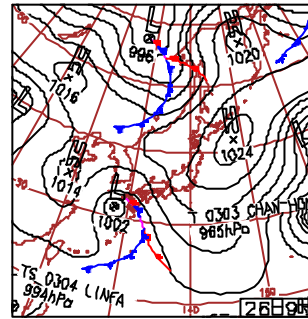
23日(金)静岡県で激しい雨
東北の東海上に移動した高気圧が広く日本を覆い、北日本を中心に晴れ。上空に寒気は入り、近畿から東海では不安定となり、静岡県鍵穴で15時まで1時間57mmの強雨。



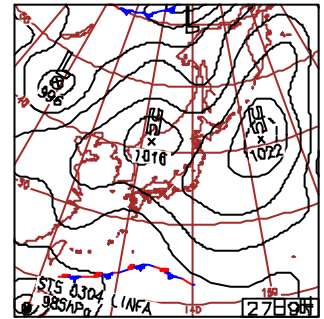
24日(土)長野県真田町で塵旋風
本州付近は東海上の高気圧に覆われ晴れの所多い。長野県では局地的に日射の影響もあり不安定となり、塵旋風発生、テント飛ばされ、けが人数名。



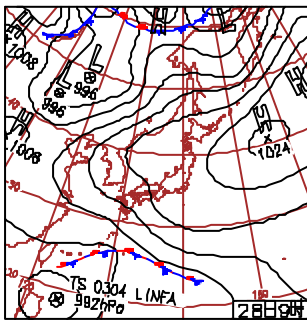
25日(日)西日本雨、東日本曇
東シナ海の低気圧の影響で中国・四国地方以西は雨、東日本にはオホーツク海方面からの高気圧が張り出し全般に曇り。



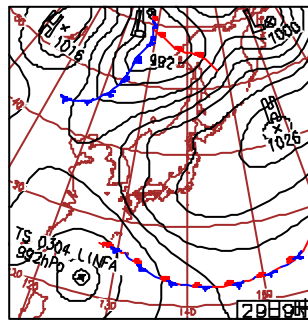
26日(月)東北で震度6弱
宮城県沖を震源とするM7.0の地震が発生。九州の西にある低気圧がゆっくりと東進。九州～紀伊半島の太平洋側で雨。大分県蒲江で日降水量231mm。台風第4号発生。



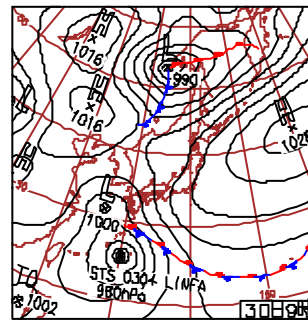
27日(火)東北地方余震続く
本邦は北海道の東と日本海に高気圧がありその間で弱い気圧の谷により、曇りや雨の所が多い、西日本の太平洋側では南東暖流により雨。



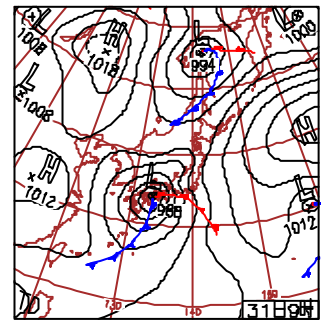
28日(水)九州各地で真夏日
日本付近は東海上に移動した高気圧に覆われ、沖縄や九州南部を除き全国的に晴れ。このため気温も上昇し、福岡・佐賀・佐世保で今季初めての真夏日。根室で桜の満開。



29日(木)真夏日を各地で観測
台風第4号は沖縄の南海上に北上、日本付近は引き続き高気圧に覆われる。北海道を除く各地方で真夏日が多く観測され、福岡31.9、新庄31.1、他15地点。旭川でも28.2。



30日(金)九州と四国で大雨
沖縄付近を北上中の台風第4号と梅雨前線の影響で九州と四国で大雨。鹿児島県高山町、宮崎県田野町・北方町で日降水量約280mm。南大東島では最大瞬間風速31.1m/sを観測。



31日(土)台風第4号宇和島に上陸
1951年以降3番目に早い上陸記録。09時に温帯低気圧となる。尾鷲で日降水量464mmを観測。低気圧や前線の影響で東日本の太平洋側では夕方まで局地的に激しい雨。